



令和7年度県立特別支援学校高等部入学者選抜に係る学校説明会について

令和6年5月
神奈川県立あおば支援学校

資料目次

- 1 学校概要について
- 2 高等部について
- 3 各教室案内
- 4 高等部の授業（時間割と各授業の説明）
- 5 学部の行事
- 6 移行支援（進路指導）について
- 7 学校給食について
- 8 部活動について
- 9 標準服・体操服について
- 10 通学支援について
- 参考：教室配置図・学校までの案内図

1 学校概要について

あおば支援学校は、
小学部、中学部、高等部の3つの学部を設置し、
それぞれに、肢体不自由教育部門と知的障害教育部門の2つの課程がある特別支援学校です

思いを紡ぐ 優しいあおば

1 学校概要について



あおば支援学校の基本理念(コンセプト)

おも つむ
思いを紡ぐ

すべての人の思いを
紡ぎ、形にしていく

やさ
優しいあおば



誰もが価値ある人間として、敬意をもって受け入れられる優しさ

青葉区を含めた広い地域、子どもの成長

1 学校概要について



あおば支援学校の基本理念(コンセプト)

おも つむ
思いを紡ぐ

誰も取り残され
ない社会へ

やさ
優しいあおば



ともに学び
ともに楽しみ
ともに喜ぶ

こどもの成長
地域の発展
共生社会の実現

令和6年度児童・生徒数

令和6年4月9日現在

学部	肢体部門	知的部門	合計	増減
小学部	21	65	86	+2
中学部	7	26	33	+5
高等部	4	91	95	△5
合計	32	181	214	+2



Abba School for Special Needs Education

学校概要（想定児童・生徒数）

学部	肢体部門	知的部門	合計
小学部	20	40	60
中学部	10	40	50
高等部	10	80	90
合計	40	160	200



Aba School for Special Needs Education

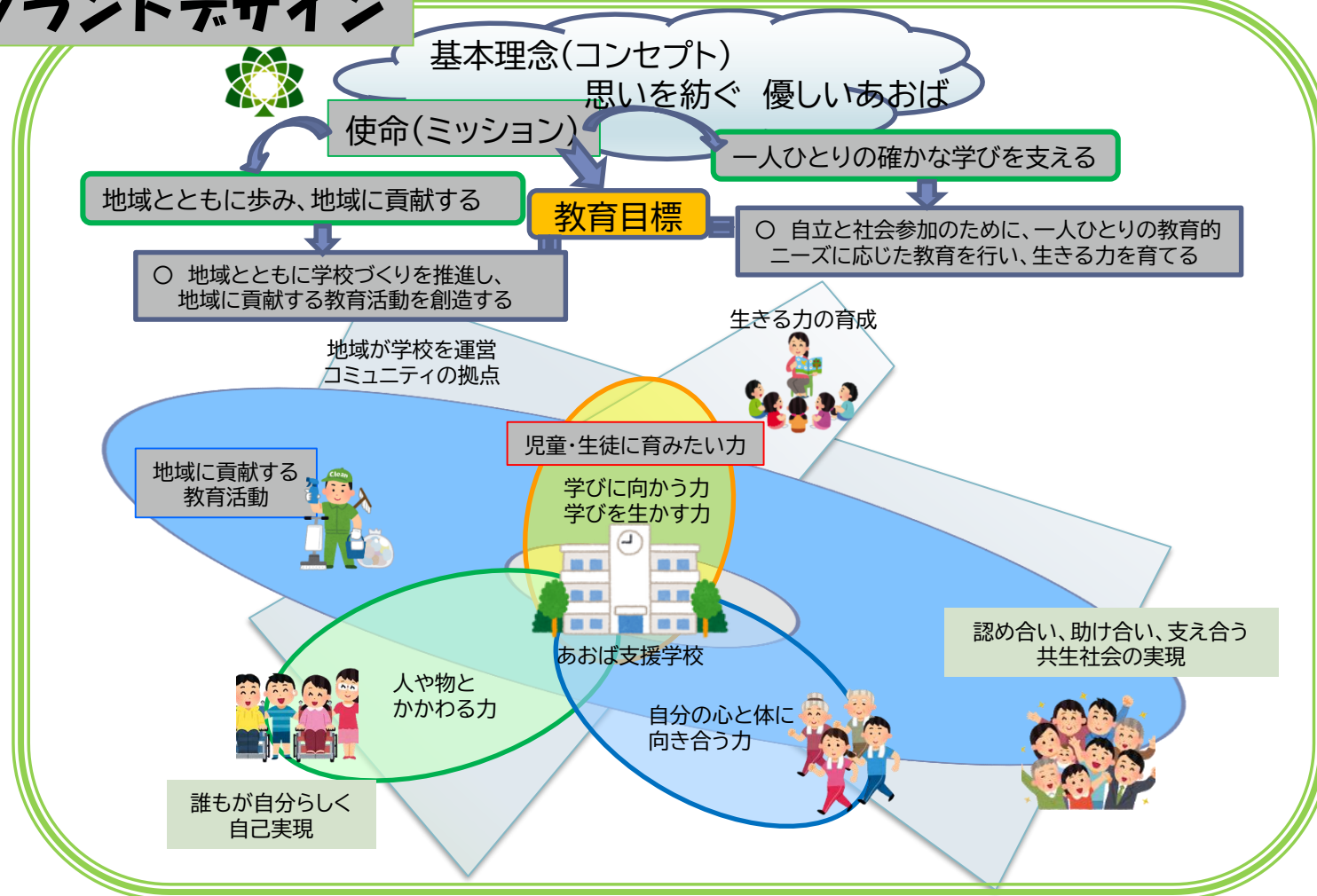


令和6年度 教職員数

令和6年4月1日現在

校長・教諭等	132名
事務職員等	14名
通学支援員・給食介助員	
マイクロバス介助員	42名
合計	188名

グランドデザイン



1 学校概要について



学校教育目標・学部教育目標

学校教育目標

確かな学びを支える特色ある教育課程と魅力ある授業

個別教育計画に基づくきめ細やかな指導・支援

キャリア発達の視点を大切にした移行支援の展開

地域で「ともに学び、ともに楽しみ、ともに喜ぶ」教育活動の創造

誰もが学びやすく働きやすい優しい環境

一人ひとりの確かな学びを支えるための教育課程を編成し、教育目標の実現に向け、各教科等の指導を関連付けながら魅力ある授業を展開する。

個別教育計画作成・運用システムを構築し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。

地域の関係機関との連携を築き、児童生徒が地域で豊かに暮らし働くことにつながる指導・支援を展開する。

共生社会の実現に向け、地域が積極的に学校運営に参画し、学校で、地域で「ともに学び、ともに楽しみ、ともに喜ぶ」教育活動を創造・展開する。

児童・生徒、保護者、教職員、地域と誰もが安全・安心で、使いやすく整った教育環境の充実を図る。

学部教育目標

	育みたい力	小学部	中学部	高等部
学びに向かう力 学びを生かす力	養育・能力 地域貢献	(できる) 学ぶ楽しさや、できる喜びを感じる心を育む。	(取り組む) 達成感のある学びを重ね、主体的に学ぶ意欲を育む。	(挑む) 新たなことに挑戦し、社会生活に活用する力を育む。
人や物とかわる力	養育・能力 地域貢献	(出る) 地域に出て行き、興味・関心をもつ。	(気付く) 日々の学びを地域で活用することで、様々な事に気付く力を育む。	(つなげる) 積み重ねた学びをもとに、地域社会の中で学び続ける力を育む。
自分の心と体に向き合う力	養育・能力 地域貢献	(かかわる) 人や物とかわり、楽しめる力を育む。	(広げる) 人や物とのかかわりを広げ、自らかわろうとする力を育む。	(築く) 自分や相手を大切に、より良い関係を築く力を育む。
	養育・能力 地域貢献	(楽しむ) 地域の人や、地域にある物の中で楽しく過ごす力を育む。	(担う) 地域の中で役割をもち、地域の一員としての自覚を育む。	(支えあう) 社会とのかかわり方と自らの役割を考え、地域の中で支えあう力を育む。
	養育・能力 地域貢献	(知る) 自分の心と体を知り、日々を楽しく過ごす力を育む。	(受け入れる) 自分の心と体の成長を知り、受け入れられる力を育む。	(整える) 自分の心と体の状態と上手に付き合い、調整する力を育む。
	養育・能力 地域貢献	(過ごす) 地域の中で健やかに過ごす力を育む。	(対応する) 地域の中で、自分の心と体と向き合い、環境に対応する力を育む。	(切り拓く) より良い社会の実現のために、自分の心や体、個性を発信する力を育む。

神奈川県立特別支援学校の通学支援の考え方

高等部知的障害教育部門生徒の通学支援の基本的な考え方

- ◆ 卒業後の自立と社会参加を見据え、自力通学を行うことを基本とする
- ◆ そのため、必要に応じて、一人ひとりの生徒の障害の状態等を踏まえた、指導と支援により、公共交通機関を利用した通学練習を行い、自力通学ができることを目指す
- ◆ また、公共交通機関を安全に利用することが難しい場合は、スクールバスや他の移動手段を利用するなどの必要な支援を行う
- ◆ 各校の状況に応じて通学支援の体制整備を進める

本校の通学支援の考え方

- ◆ 高等部B部門の生徒は、自力通学を行うことを基本とする
- ◆ 児童・生徒一人ひとりの障害の状態に応じ合理的配慮に基づいた支援策を検討する
- ◆ 学校と本人・保護者が学校卒業後を見据え、自立と社会参加に向け個別教育計画に位置付けて計画的に取り組む
- ◆ 一人ひとりの支援方法を、学校の通学支援委員会で検討し、学校長が承認する(通学支援員、SBの利用など)
- ◆ スクールバスは、通学支援の一つの手段であるが、バスポイントや運行ルート、座席数等の制限がある
- ◆ 高等部段階では、早い時期に支援手段を獲得し、卒業後に利用できるように移行していく

2 高等部の概要について

2 高等部について

■ 学部経営方針

高等部の生徒は、思春期を迎え複雑な心理状態にあります。また、これまでに、さまざまな出会いや支援、指導等を経験してきました。その中で紡いできた**本人の思いや保護者の思い**を大切にしつつ、その思いを芯として、**高等部での学習や体験、指導や支援**を絡み合わせながら、生徒の心の中に**一本のしっかりとした糸**を紡いでいきたいと考えています。

社会の中には、いろいろな人がいて、さまざまな社会資源があります。社会をさまざまな色の横系とすれば、**生徒それぞれが縦系**となって、**多種多様で色鮮やかな生地**を作り出してほしいと考えます。

カラフルで美しい生地を構成する、なくてはならない一本のしっかりとした糸のように、**地域社会の一員**として、その中でなくてはならない存在として活躍する人材を育てていくことを目指します。

2 高等部について

■ 学部教育目標

(1) 学びに向かう力、学びを活かす力

【資質・能力】「挑む」 新たなことに挑戦し、**社会生活**に活用する力を育む。

【地域貢献】「つなげる」 積み重ねた学びをもとに**地域社会**の中で学び続ける力を育む。

(2) 人や物とかかわる力

【資質・能力】「築く」 自分や相手を大切にし、より良い関係を築く力を育む。

【地域貢献】「支えあう」 **社会**とのかかわり方と自らの役割を考え、地域の中で支えあう力を育む。

(3) 自分の心と体に向き合う力

【資質・能力】「整える」 自分の心と体の状態と上手に付き合い、調整する力を育む。

【地域貢献】「切り拓く」 より良い**社会**の実現のために、自分の心や体、個性を発信する力を育む。

2 高等部の教育について

■ 高等部 A 部門（肢体不自由教育部門）

	1・2・3年1組	合計
生徒数	4名	4名
担任	3名	3名
※学部L・ 学部所属	※4名	※4名

■ 高等部 B 部門（知的障害教育部門）

	1年1組	1年2組	1年3組	合計
生徒数	9名	9名	8名	26名
担任	3名	3名	2名	8名
学年所属	3名	※学部L 学部所属	※4名	7名

2 高等部の教育について

■ 高等部B部門（知的障害教育部門） 学部概要

	2年1組	2年2組	2年3組	2年4組	合計
生徒数	8名	8名	8名	9名	33名
担任	2名	2名	2名	3名	8名
学年所属	3名	学部L、 学部所属	※4名		7名

	3年1組	3年2組	3年3組	3年4組	合計
生徒数	8名	8名	8名	8名	32名
担任	2名	2名	2名	2名	8名
学部L 学年所属	4名	学部L、 学部所属	※4名		8名

3 各教室案内

- 昇降口です。ここから階段を上がって、教室に向かいます。



3 各教室案内

■ 高等部 A 部門が学ぶ 1 階のフロアと教室 です。



給食は、食堂
で食べます。



3 各教室案内

■ 高等部 B 部門が学ぶ 3 階のフロアと教室です。

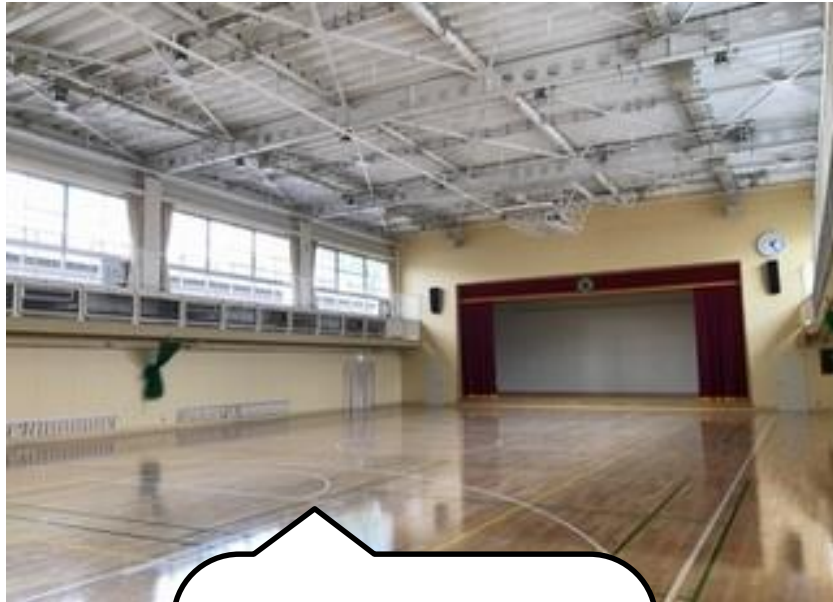


給食は、教室
で食べます。



3 各教室案内

■ 体育館とグラウンドです。



体育や体づくり、
文化祭、いろい
ろな行事で使い
ます。



3 各教室案内

■ 南棟多目的室です。



学年のみんなで
集会や報告会な
どをします。
作業学習の紙工
班がこの部屋で
活動しています。

■ 音楽室です。



いろいろな楽器があります。
部活動や、探Q!の余暇活動でも使います。



3 各教室案内

■ 調理室です。



3 各教室案内

■ 製パン室です。



作業の食品加工班が、パンやお菓子を焼きます。



■ 農園芸室です。



作業の農園芸班が使う部屋です。畑は、近隣の農家さんより借りています。



26/55

3 教室等案内

■ランドリー室です。



作業の洗濯班が
使う部屋です。
洗濯班は、軽作
業室も使ってい
ます。



3 教室等案内

■ 木工室です。

作業の工芸班が
使う部屋です。
木工をする道具
がそろっています。



3 教室等案内

■ 美術室です。

美術の授業で使います。また、作業の手芸班も使う部屋です。



3 各教室案内

■ ふれあい図書コーナーです。



地域の人たちや他学部との交流の場になります。



30/55

4 高等部の授業（時間割）

A部門-1

高等部（知的障害を併せ有する肢体不自由教育部門）日課表

	月			火			水			木			金		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
8:50															
8:50	朝の支度														
9:10	HR														
9:25	30	体育	体づくり	体づくり	作業		体づくり	体づくり	体育	作業		体づくり	体育	体づくり	
9:55	休憩時間														
10:00	5														
10:00	50	体育	音楽	美術	作業		音楽	生活	体育	作業		美術	体育	生活	
10:50	休憩時間														
10:50	5														
10:55	40	生活	国語・数学	美術	作業		国語・数学	LHR	国語・数学	作業		美術	国語・数学	LHR	
11:20	10		国語・数学											国語・数学	
11:30	給食準備														
11:40	給食														
12:25	食後の活動														
12:45	休憩時間														
12:55	25	国語・数学	生活	生活	作業	LHR			作業	生活	美術	国語・数学			
13:20	15					帰りの支度									
13:35	10					HR									
13:45	5					休憩時間									
13:50	5	下校													
14:15	40	探Q!	探Q!	探Q!	作業				職業	LHR	美術	音楽			
14:30	帰りの支度														
14:55	HR														
15:05	下校														

別紙資料 1-1
をご覧ください。

4 高等部の授業（時間割）

■ A部門-2

高等部（重複障害者のうち、自立活動を主として指導を行う場合）日課表

	月			火			水			木			金		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
8:50															
8:55	朝の支度														
9:10															
9:15	HR														
9:25															
30	体づくり			作業			体づくり			作業			体づくり		
9:55	休憩時間														
10:00															
50	体育	音楽	美術	作業			音楽	生活	体育	作業			美術	体育	生活
10:50	休憩時間														
10:55															
25	国語・数学			国語・数学			LHR			国語・数学			生活		
11:20															
25	給食準備														
40	給食														
12:25															
20	食後の活動														
12:40															
10	休憩時間														
12:50															
25	生活			生活			LHR			作業			生活	美術	生活
13:20	生活			生活			LHR			作業			生活	美術	生活
13:25	生活			生活			LHR			作業			生活	美術	生活
13:30	生活			生活			LHR			作業			生活	美術	生活
13:35	生活			生活			LHR			作業			生活	美術	生活
13:40	生活			生活			LHR			作業			生活	美術	生活
13:45	休憩時間														
13:50	下校														
40	探Q!	探Q!	探Q!	作業			職業			生活	生活	音楽			
14:30															
25	帰りの支度						帰りの支度								
14:55	HR														
15:05	下校														

別紙資料 1-2
をご覧ください。

4 高等部の授業（時間割）

B 部門

高等部（知的障害教育部門）日課表

別紙資料 1-3
をご覧ください。

	月			火			水			木			金		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
8:50	朝の支度														
9:10	HR														
9:30	体育	体づくり	体づくり	作業	体づくり	体づくり	体育	作業	体づくり	体育	体づくり	作業	体づくり	体育	体づくり
9:50	休憩時間														
10:10	体育	音楽	美術	作業	音楽	家庭	体育	作業	美術	体育	家庭	美術	体育	家庭	
10:30	休憩時間														
10:50	社会・理 科	国語・数 学/情報	美術 清掃	作業	国語・数 学/情報	LHR	国語・数 学/情報	作業	美術 清掃	国語・数 学/情報	LHR	美術 清掃	国語・数 学/情報	LHR	
12:10	給食準備														
12:15	給食														
12:25	食後の活動														
12:40	休憩時間														
12:50	国語・数 学/情報	社会・理 科	社会・理 科	作業	国語・数学			作業	家庭	美術	国語・数 学/情報				
13:15					帰りの支度										
13:40	休憩時間														
13:50	探Q!	探Q!	探Q!	作業	下校			職業	LHR	美術 清掃	音楽				
14:15	帰りの支度				帰りの支度										
14:30	HR				HR										
15:00	下校						下校								

4 高等部の授業（内容）

A部門

日課表上の呼称	教科等のねらい・指導内容	学習形態
国語・数学	日常生活に即した言葉や必要な数量等、国語・数学の基礎的内容と、外国語も含め、見たり聞いたり話したり読んだりする学習を行います。	個別
生活	近隣散策を通して自然に触れたり、公共施設や公共交通機関を利用したり、身近な社会、理科に関連する事柄について、関心と理解を深める内容の学習を精選して行います。また、教科「家庭」に関わる内容についても学びます。	部門 学年
音楽	歌唱、器楽、創作、身体表現、鑑賞の活動を通して、表現を豊かにすることや音楽を楽しむことについて学びます。	学部 学年
美術	描画や造形等の創作活動や鑑賞を通して、創作する喜びや表現することの楽しさについて学びます。	学部 学年
体育	運動に親しみながら体を動かす楽しみを知り、運動や健康への興味・関心を広げ、友だちと協力して行動する力を育てます。粗大運動や感覚運動などを中心とした運動学習を行います。	学部 学年
体づくり	個々の目標に合わせて、身体をほぐしたり、立位をとったり歩行したりする学習を行い、基礎的体力の維持・増進を目指します。拘縮予防等のストレッチやマッサージ等も行います。	学部 学年

4 高等部の授業（内容）

A部門（つづき）

日課表上の 呼称	教科等のねらい・指導内容	学習形態
作業	<p>高等部では、8つの作業班を編成します。作業学習を通して、社会人になるための知識や技能を身につけることを目指します。</p> <p>《食品加工班》 製パン、製菓、販売、接客 《農園芸班》 農作業、農作物・苗の販売、公園清掃・花壇整備 《清掃班》 校内清掃、近隣公共施設での清掃作業 《洗濯班》 洗濯、アイロン、たたみ、受注作業、納品 《紙工班》 紙袋づくり、紙すき等紙製品作成、販売 《受注班》 受注作業（校外・校内）、納品 《手芸班》 コースター、シュシュ等手芸製品作成、販売 《工芸班》 木工製品、紙バンドを使った製品作成、販売</p>	グループ
職業	<p>進路に関わる事柄について学習し、将来の社会生活に係る力を身に着けることを目指します。また、地域社会への参画に向けた学習を行います。</p>	学部 学年 グループ
探Q！ (総合的な探究 の時間)	<p>社会に出るために必要な政治参加教育、消費者教育、防災教育等の学習や体験、生涯教育の観点から余暇を楽しむための活動を通して、自分の将来について考え、探究する学習を行います。</p>	学部 学年 グループ
LHR	<p>主に学級活動を行います。生徒会活動を行うことも検討しています。</p>	学部 学年

4 高等部の授業（内容）

B 部門

日課表上の呼称	教科等のねらい・指導内容	学習形態
国語・数学	国語・数学の基礎的内容と、外国語も含め社会生活で必要となる知識や技能等の発展的内容の学習を精選して行います。	グループ
社会・理科	身近な社会、理科に関連する事柄についての関心と理解を深める内容の学習を精選して行います。	グループ
情報	コンピューター機器等の基本的な操作や、情報社会の中で必要となる情報に関するルールやマナー、情報収集の方法等について学習します。	グループ
音楽	歌唱、器楽、創作、身体表現、鑑賞の活動を通して、技能を身につけ、表現を豊かにすることや音楽を楽しむことについて学びます。	学年
美術	描画や造形等の創作活動や鑑賞を通して、創作する喜びや表現することの楽しさについて学びます。	学年
体育	球技、水泳、表現（ダンス）等の活動を通して、運動に親しみながら自主的に体を動かす楽しみを知り、集団活動に必要なルールやマナー、役割を意識して行動する力を育てます。	学年
体づくり	ランニングや筋力トレーニング、リトミック等を通して、基礎的体力の維持・増進と、体を動かす習慣を身につけることを目指します。	学年 グループ
家庭	生活全般に必要な衣食住、消費や環境等についての基礎的な知識や技能を身につけ、よりよい生活の実現に向けた学習を行います。	グループ 学級

4 高等部の授業（内容）

■ B部門（つづき）

日課表上の呼称	教科等のねらい・指導内容	学習形態
作業	<p>高等部では、8つの作業班を編成します。作業学習を通して、社会人になるための知識や技能を身につけることを目指します。</p> <p>《食品加工班》 製パン、製菓、販売、接客 《農園芸班》 農作業、農作物・苗の販売、公園清掃・花壇整備 《清掃班》 校内清掃、近隣公共施設での清掃作業 《洗濯班》 洗濯、アイロン、たたみ、受注作業、納品 《紙工班》 紙袋づくり、紙すき等紙製品作成、販売 《受注班》 受注作業（校外・校内）、納品 《手芸班》 コースター、シュシュ等手芸製品作成、販売 《工芸班》 木工製品、紙バンドを使った製品作成、販売</p>	グループ
職業	<p>作業学習で身につける力と知識・技能も含め、職業に関する事柄について学習し、将来の職業生活に係る技能を身に着けることを目指します。また、地域社会への参画に向けた学習を行います。</p>	学部 学年 グループ
探Q！ （総合的な探究の時間）	<p>社会に出るために必要な政治参加教育、消費者教育、防災教育等の学習や体験、生涯教育の観点から余暇を楽しむための活動を通して、自分の将来について自主的に考え、探究する学習を行います。</p>	学部 学年 グループ
LHR	<p>主に学級活動を行います。生徒会活動を行うことも検討しています。</p>	学級 学部

5 学部の行事

■ 年間活動計画

ア 学部行事

○修学旅行(3年生)

7月3日(水)~5日(金) 大阪方面 2泊3日

○授業参観

7月12日(金)AMの授業

9月30日(月)~4日(金)校内実習期間

※1年生は10月1日(火)から

2月17日(月)~21日(金)あおばオープンデー

※20日(木)に作業製品販売会を実施予定

○保護者懇談会…4月17日(水)、3月6日(木)

○個別面談…5月1日~、9月6日~、2月27日~

5 学部の行事

■ 年間活動計画

イ 学年行事

○遠足…1年生と3年生の時に各1回

1年生：6月11日(火) ※予備日6月20日(木)

3年生：2月14日(金) ※予備日2月21日(金)

○宿泊学習

1年生 校内防災宿泊体験(1泊2日)11月21日(木)~22日(金)

あおば支援学校

2年生 校外宿泊学習(1泊2日)5月10日(金)~11日(土)

※振替休日5月13日(月)

三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ

○校外学習(学年、授業ごとの学習グループ)

○近隣校外学習

行先や日程など
詳細は、決まり
次第お知らせし
ます。

6 移行支援（進路指導）について

■ 本校の進路指導のポイント

「移行支援教育」

「学校」から「社会」への移行の支援

「子ども」から「大人」への移行の支援

「意思決定支援」

適切な自己理解のための支援

進路について自己選択・自己決定を支援

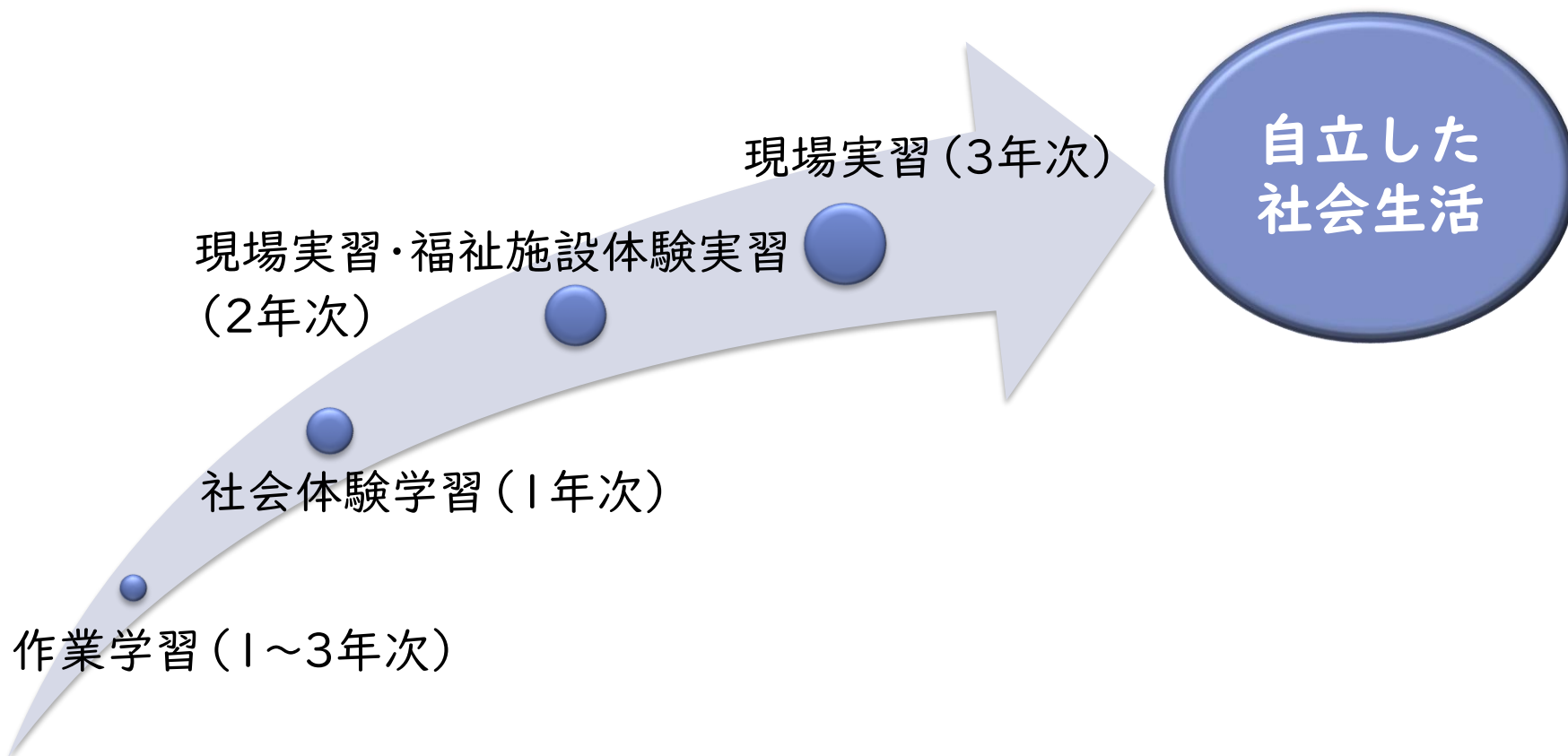
6 移行支援（進路指導）について

本校の進路指導の目標

- 1年生 働くことに関心を持つ
進路に関して意識を高める
- 2年生 働く体験をし、意欲を高める
進路について具体的に考える
- 3年生 働く力を身につけ、高める
卒業後の進路を決定する

6 移行支援（進路指導）について

さまざまな体験的学習



7 学校の給食

A部門は食堂、B部門
は教室で給食を食べ
ます。



食堂



7 学校の給食

初期食



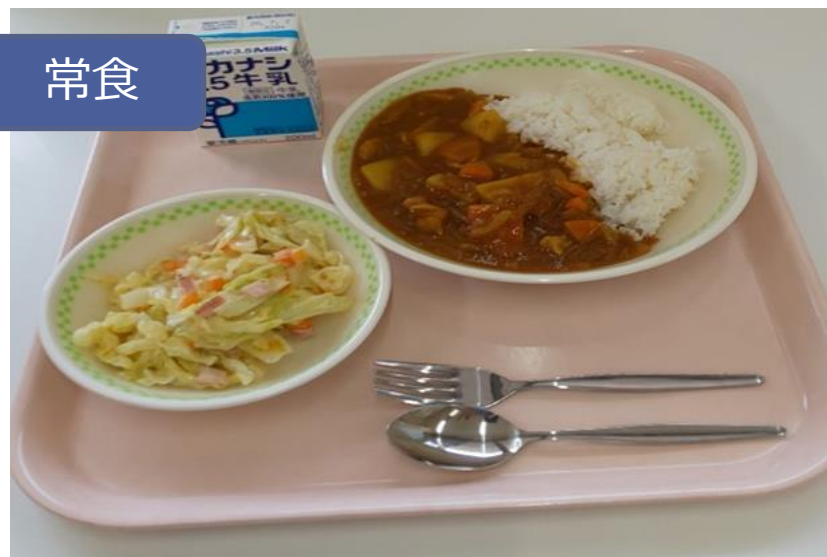
中期食



後期食



常食



8 部活動

- 対象者：中学・高等部の希望する生徒
- 活動日：月1回程度 水曜日 13:45～14:35
- 部活動の種目
 - 陸上部 サッカー部 バスケットボール部
 - アート部 音楽部 ダンス部 マンガ・アニメ部
- 大会等の参加について
 - 参加の状況によって、特別支援学校体育連盟主催の大会に参加する場合があります。

※参加希望生徒の少ない部活動は 活動を休止する場合があります。

9 標準服・体操服について

■ 通学用の標準服と標準体操服



10 通学支援について

- 県立特別支援学校高等部の通学支援に関する基本的な考え方
 1. 卒業後の自立と社会参加を見据え、**自力通学を行うことを基本**とする。
 2. 必要に応じて、一人ひとりの生徒の障害の状態等を踏まえた、指導と支援により、公共交通機関を利用した通学練習を行い、**自力通学ができることをめざす**。
 3. また、公共交通機関を安全に利用することが難しい場合は、スクールバスや他の移動手段を利用するなどの必要な支援を行う。

10 通学支援について

■ 本校高等部の通学支援に関する基本的な考え方

- 登下校は保護者の責任のもと行う
- 本校高等部は自力通学が基本

現段階で自力通学に至らない場合でも

- 個々の生徒の実態と教育的ニーズに応じ、自立の度合いを高める通学支援について、学校も一緒に考える

→ **個別教育計画に基づいた通学支援**

通学支援の利用は個別教育計画を踏まえて学校が総合的に判断を行います
保護者の希望のみで通学支援の利用はできません。

通学支援の方向性

学校資源



地域・社会資源の活用へ

○ガイドヘルパー

○ガイドボランティア など

⇒ 各区の担当ケースワーカーへ相談

受給者証の発行、サービスの決定など

「社会福祉資源を活用して保護者や学校の助けに頼らない」

これも立派な「自立」です。

参考：教室配置図

■ 1階平面図

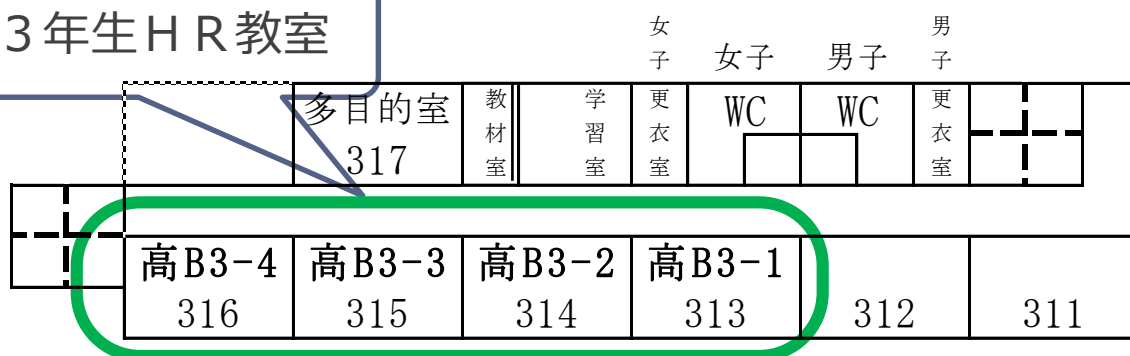


参考：教室配置図

■ 3階平面図

B部門3年生HR教室

中央棟



EV
スロープ

B部門2年生HR教室

南棟



B部門1年生HR教室

音楽室2

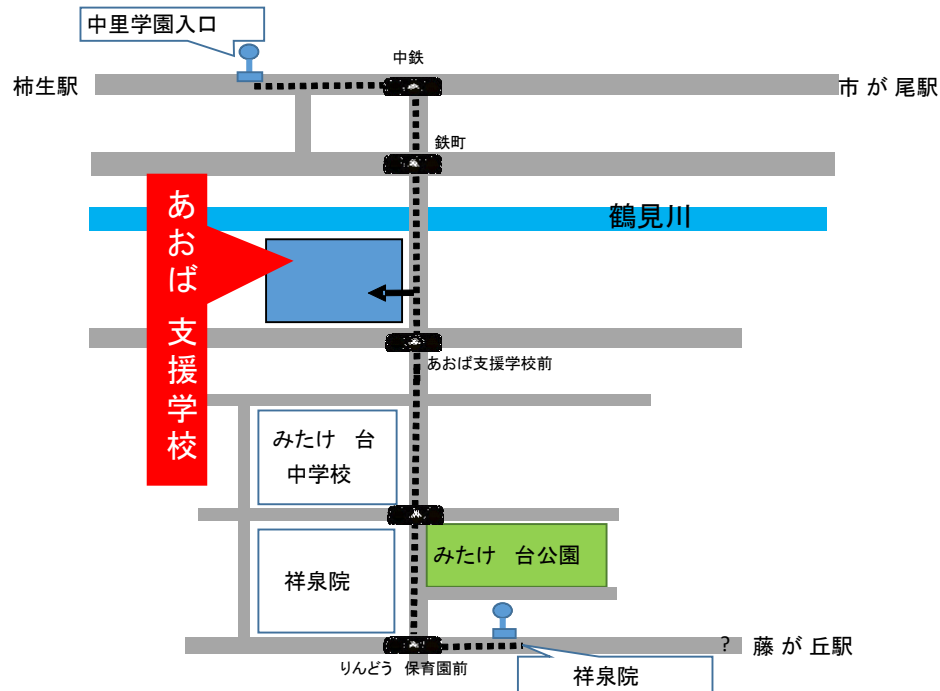
EV

参考：学校までの案内図(通学について)

<交通機関>

- 東急田園都市線 藤が丘駅又は青葉台駅下車、バス（青01）「祥泉院」下車 徒歩10分
- 東急田園都市線 市が尾駅下車、バス（柿23、市43、青27）
又は小田急線 柿生駅下車、バス（柿23）「中里学園入口」下車 徒歩10分

<学校周辺図>



シンボルツリー（メタセコイア）
と校舎前庭ロータリー